

# これからの横芝光町 No. 6

## (仮称) 新栗嶋橋

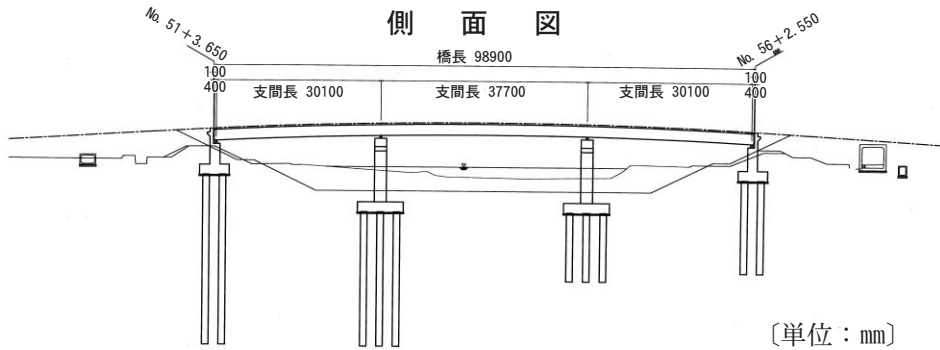


栗山川に架かる現在の栗嶋橋は、多古町との境に架かる県道の新井橋と国道126号に架かる新栗山橋のほぼ中間にある町道橋です。昭和12年に「農業水利改善事業」で木橋を長さ38m、幅員2・6mの鉄筋コンクリート橋に架け替えられ、その後川の拡幅に伴って昭和34年に61m追加されました。

これまで栗嶋橋は地域の栗嶋橋は、多古町との境に架かる県道の新井橋と国道126号に架かる新栗山橋のほぼ中間にある町道橋です。昭和12年に「農業水利改善事業」で木橋を長さ38m、幅員2・6mの鉄筋コンクリート橋に架け替えられ、その後川の拡幅に伴って昭和34年に61m追加されました。

旧横芝、光両町で合併前の平成15年から始まり、新町のまちづくりの根幹となる「新町建設計画」に基づき、旧光の富下地区の1級町道と旧横芝の寺

方地区の県道を結ぶ東西方向の連絡道路の整備により進めるため、現在の橋から300m下流に新しい橋を架けることになりました。

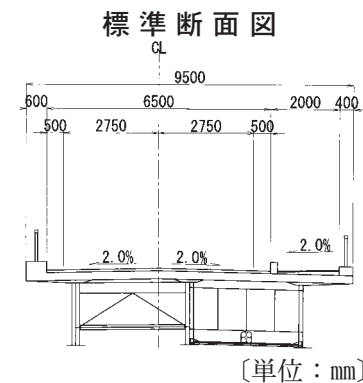


この整備は栗嶋橋架橋及び取り付け道路整備事業として、平成18年度より地方道路整備臨時交付金、合併特例債事業を導入し、富下地区から幾地区までの600mを第1期区間として整備に着手しました。

これまでに測量調査、道路・橋梁設計、用地取得等を実施し、来年度には橋梁の下部工事に着手する予定です。

さらに、来年度から橋梁本体と接続する本線の一部工事を、町の要望で県が進めている広域河川改修事業に取り込むことになり、今後、工事期間、町の負担額等について協議する予定です。

なお、新橋の完成後は、現在の栗嶋橋は撤去する予定です。



- 事業期間 平成18年度～平成22年度
- 事業主体 千葉県、横芝光町
- 事業費 8億4千万円 (橋梁も含む)
- 事業内容 整備区間600m
- 橋梁本体 長さ1198・9m (支間長30・1+37・7m+30・1m)
- 幅員 9・5m (車道2・75m×2、歩道2・0m片側)
- 上部工(型式) 鋼3径間連続非合成鈹桁橋